

国連児童基金（UNICEF）と協力覚書を更新

－保健・栄養、教育、水・衛生分野を中心に SDGs・人間の安全保障の達成に
貢献－

2025年8月26日

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、8月20日、国連児童基金（UNICEF）と協力覚書を更新しました。署名は、第9回アフリカ開発会議 TICAD9 が開催された横浜にて、国連児童基金（UNICEF）のキャサリン・ラッセル事務局長と JICA 田中明彦理事長との間で行われました。

今回の覚書は、UNICEF と JICA の効果的な連携を一層促進することを目的とするものです。世界の子どもたちの権利と健やかな成長のため、JICA-UNICEF が連携することで、より大きなインパクトをもたらすことができると期待されています。



覚書更新の様子（撮影：滝本哲也）

JICA と UNICEF は、2019 年より 3 年ごとに協力覚書を締結しており、今回が 2 回目の更新となります。過去の協力実績を踏まえ、より効果的かつ実績に基づいた連携を目指して、覚書の内容を更新しました。特に、保健医療・栄養、教育、水衛生分野など、これまで成果を上げてきた分野での協力を強化するとともに、不安定な情勢や緊急事態が発生した地域での協力や、若者に対する人間の安全保障・国際協力の重要性の発信についても連携していくことを新たに合意しました。

以下の分野において、JICA と UNICEF は連携を強化します：

- ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）推進
- 栄養改善
- 幼児期の発達支援
- 教育
- 水・衛生（安全な水と衛生サービスの提供、衛生習慣の促進）
- 人道危機対応（パンデミック等への備え、若者・子どもへの支援）
- デジタル化・イノベーションの推進
- ジェンダー平等

- 気候変動・防災
- 脆弱地域での連携強化
- 若者への人間の安全保障・国際協力の価値啓発

【SDGs 達成への貢献】

ゴール 3（すべての人に健康と福祉を）

ゴール 4（質の高い教育をみんなに）

ゴール 17（パートナーシップで目標を達成しよう）

【関連リンク】

[国連児童基金（UNICEF）との協力覚書を更新 - 保健・栄養・教育分野を中心にSDGs、人間の安全保障の達成に貢献 - | ニュース・広報 - JICA](#)